

洋曲 琴曲
 校正撥箏雅譜集
 上

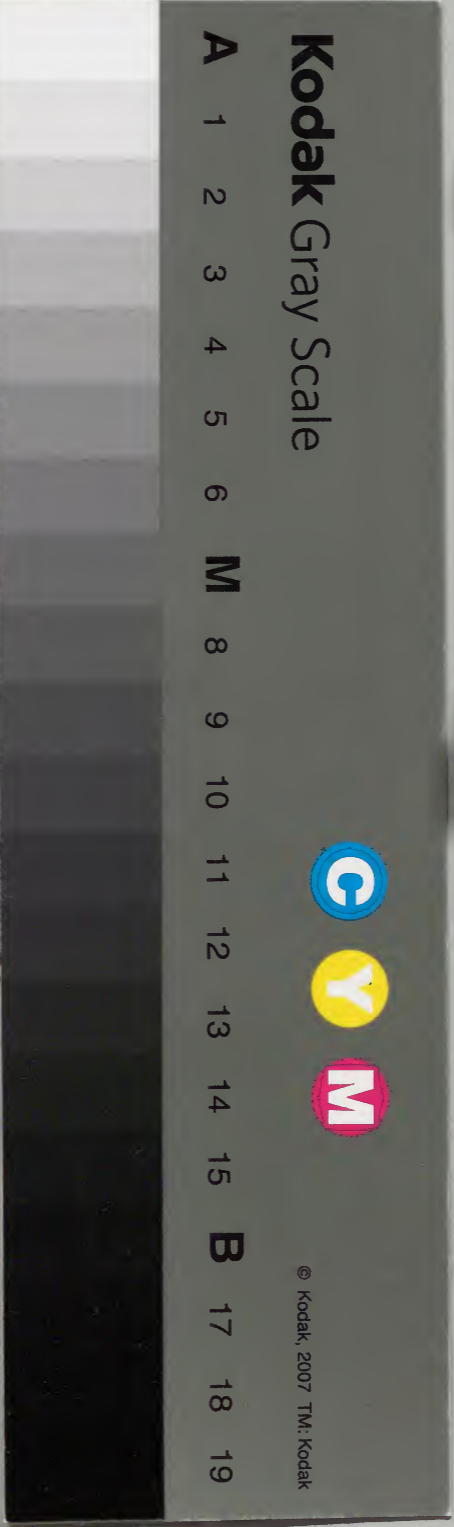
和書門	類	號	函	架	冊
		一七八	二三八	一三	三

小技曲

音綴

内閣文庫			
譜號	和	17138	
冊數		3 (1)	
函號		199	228

199-228

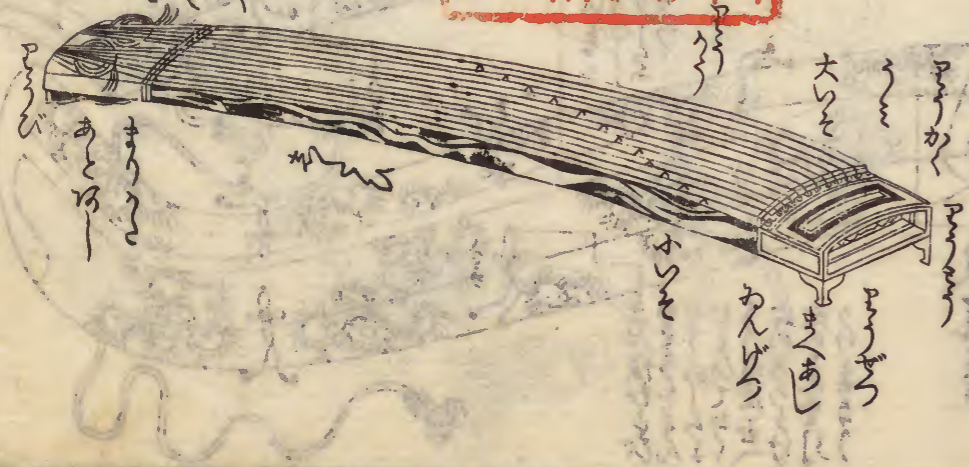


筆の漢をより後つゝのあて原阮瑟
 の属をなると云 字多帝の時命
 婦石川の色子といふが阮瑟の妻ふ
 於てとまは成唐人の傳り 帝小授をり
 一のひ或い 仁剛帝の時字に掃粉改貞
 敏といふ人唐の廉義武女より傳りし
 とせりか何まは詳あべりりども最古に
 せふ流りしものといえりまはまはの筆で
 筆のまやと云いしといふより雅楽に
 用からしむが後の世ふりり是ははくま
 をづけ和琴と云ふの似るははくまはとも
 混同して書すといふたりし云 和琴の
 本朝神代より傳りし樂器あり其より
 六張のちと並て擇りせりめと名ひえり

浅草文庫

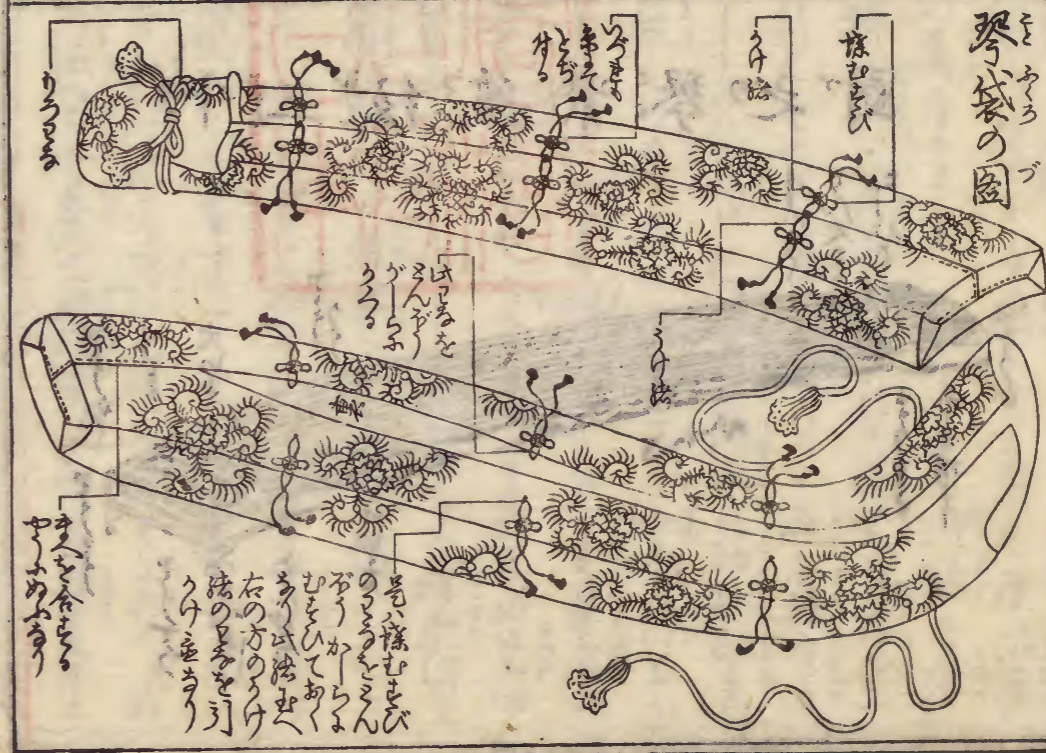


十琴之図

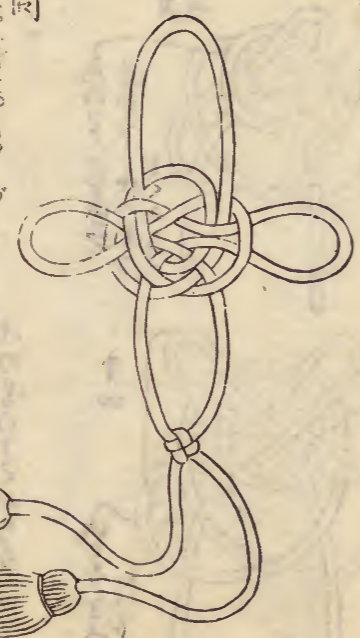


100-558

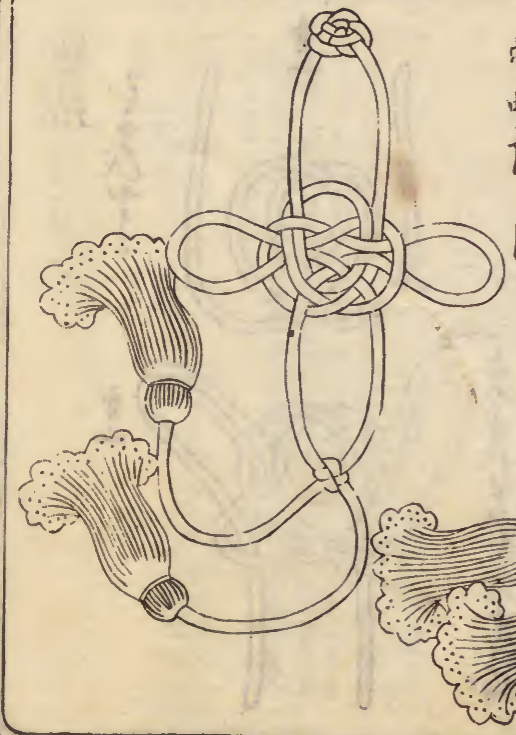
琴袋の図



蝶結の図

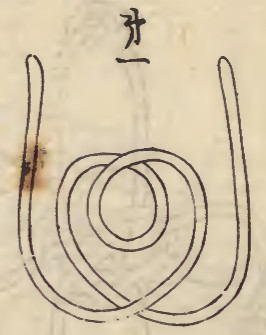


同 蜻蛉の図



蝶結

むしむし



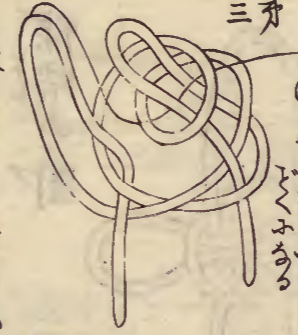
カ一



カ二

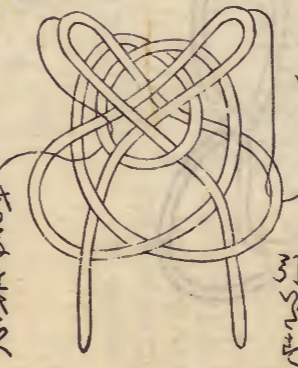
右の方の端を左の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば次の糸の通し方

三カ



左の端を右の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば次の糸の通し方

右の方の端を左の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば



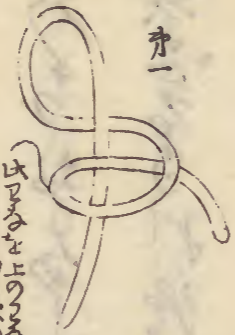
カ四

左の端を右の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば次の糸の通し方

右の方の端を左の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば

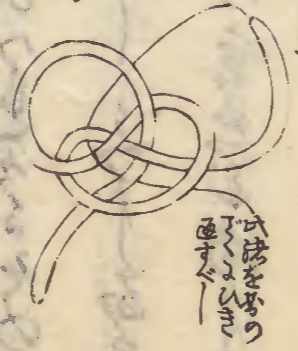
横拾

カ一



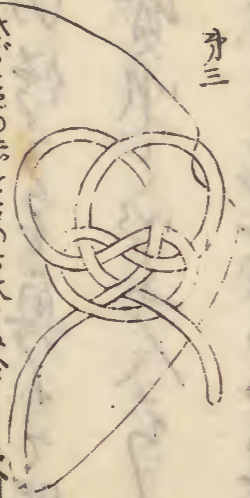
右の端を上へ左の端を下へ通せば

カ二



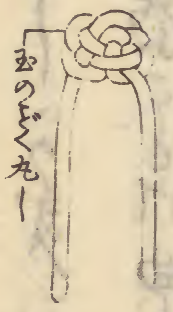
右の端を上へ左の端を下へ通せば

カ三



右の方の端を左の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば次の糸の通し方

カ四



右の方の端を左の中へ輪の中心へ下へ上へ通せば

大いこの歌

何れもよこしに曲を大い水の比
とこの也ふも好園若道守者
の修らるも真つりて能好む乃
賢明といふ人ちしめく
そらとれと字の建たるその
乃ち也あししるありある
夢若きれ能言もむ侍り
言若くまうて若若きれ能言水

おそそつとくくハ橋橋授よ
のありを能く世とけりこと
とにちり能橋授とく能授
まよやまひく出能のや
れ高かりしうん夢安乃比
おひしりそりしきの信若
と所くまめ表くら十三曲の
組といふその能あるんまめ
らまもまもまもまもまも

言兒辨しきとあり其の
わさどめとあり其の
糸統はるほと母流をとて
派を流くえと名を志し
建つる人の新うよはりの
切られたる章曲もやして
去るれうと流されは是彼
と書何つれと世よめと傳
ふもあはれと日記と撰筆

雅集と章曲新流の二種

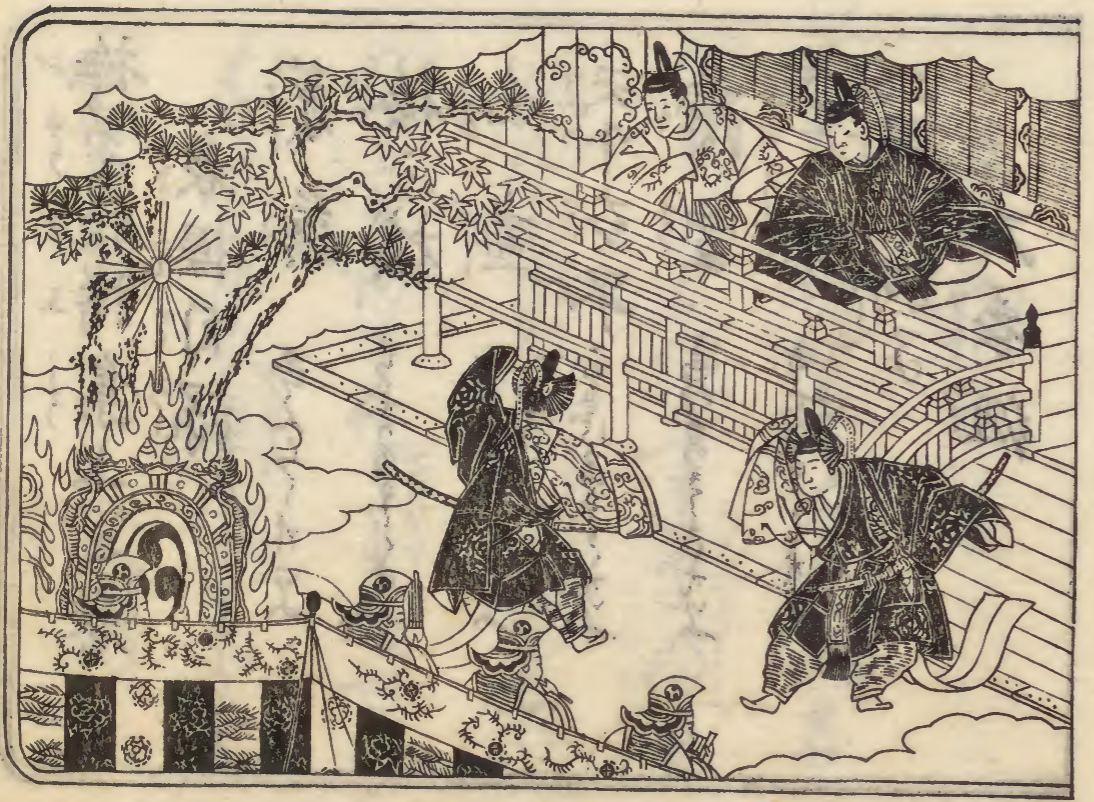
八安むく豊きふりたはれぬ
多らう道の志たなりあはれ
うとととととととととととと
ゆはははははははははははははは
去りて年飛しとととととと
ゆり建つるるるるるるるる
ゆらとととととととととととと
ゆらとととととととととととと
ゆらとととととととととととと

あゝ先補ひ侍りよ
其何れ海に成るよ
しとあふふのあふふと
とらふくはうまふく
侍り侍るとの婦

赤糸に夜交冬冬

豊山志る人

あゝ先補ひ侍りよ
其何れ海に成るよ
しとあふふのあふふと
とらふくはうまふく
侍り侍るとの婦



撫箏雅譜集上之卷

表操目錄

兼落 あつらひのきょうたい

梅が枝 うめがえのきょうたい

心盡 こころをくわすのきょうたい

天下を平 あまのよをひらくのきょうたい

薄雪 うすゆきのきょうたい

雪暑 ゆきのあついなりのきょうたい

六段調子

右表組

兼落

① 物あとりよをくさし名

あつらひのきょうたい

うめがえのきょうたい

こころをくわすのきょうたい

② 兼落

あまのよをひらくのきょうたい

お月夜に
お月夜に
お月夜に

お月夜に
お月夜に
お月夜に

お月夜に
お月夜に

⑥

お月夜に
お月夜に

お月夜に
お月夜に

お月夜に
お月夜に

お月夜に
お月夜に

梅が枝

① こけまふ せが おけむ かんざぶ おけむ ざり おけむ ちん

こけまふ う おけむ かん おけむ ひ おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

② おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

③ おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん おけむ かん

あ
七かきむす
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

⑤

あ
七かきむす

⑥

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

あ
七かきむす

ふりきん

心畫

①

あつらひく乃松風

すほれううハのあまき

うううううううううう

むらり福り地くも

むらり福り地くも

②

物さき線まふくと

屋ぶらあきり

まき川みわこなふ

とととんきんハあり

屋ぢやと

③

あつれ花乃あまほの

ゆきをさきん

うれきを魚の如く

あまき 十ニテハ ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

①

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

②

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

あまき あまき ねのさうあまき

③ 七九
とつちき

けのちくもく戸る記

月はいうそくくん

くおくくくくくくく

おそくおそくくく

くくく

くくくくくくく

④

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

くくくくくくく

⑤

くくくくくくく

くくくくくくく

そめくすねーち
七六五三マウツ
をうらん
七六五三マウツ

林のふり所きん
おけしよ

おけしよ
おけしよ
おけしよ

志ぐれふるびに
五十合
十たててこの
十たててこの

つらのますぞあや
七六五三マウツ

しん

うす
ゆ
薄雪

うすゆ
お十九十ひ初め

うすゆ
お十九十ひ初め

うすゆ
お十九十ひ初め

うすゆ
お十九十ひ初め

うすゆ
お十九十ひ初め

うすゆ
お十九十ひ初め

二

意 九八八八八八 徳 八八八八八八 バウ 八八八八八八 あり 八八八八八八 花 八八八八八八

な 五十九合二分 ん 五十九合二分 市 五十九合二分 果 五十九合二分 と 五十九合二分 く 五十九合二分 と 五十九合二分 花 五十九合二分

な 十の十 ん 十の十 市 十の十 果 十の十 と 十の十 く 十の十 と 十の十 花 十の十

な 二七 ん 二七 市 二七 果 二七 と 二七 く 二七 と 二七 花 二七

三

な 三三 ん 三三 市 三三 果 三三 と 三三 く 三三 と 三三 花 三三

な 三三 ん 三三 市 三三 果 三三 と 三三 く 三三 と 三三 花 三三

里 十の十 や 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

里 十の十 の 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

四

志 十の十 乃 十の十 先 十の十 の 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

志 十の十 の 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

志 十の十 の 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

志 十の十 の 十の十 花 十の十 び 十の十 ー 十の十 ー 十の十 花 十の十

五

雪の朝
雪の朝の朝の朝

月
月の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

六

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

一

雪の朝

雪の朝の朝の朝

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

雪
雪の夜の夜の夜

四ツ五ツッ
浦らえり成えぬ

一五
六
七
之 ぶ 休

十ひま
あき浦や 八ひま
波が身を

四ニツ九
五ニツ八ニツ
くも 井の ありの 中

ざり ぬ 井 ぬん ぬ 連

五ツナニツ
六
七
の 心 とも づ 月 ね

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

三
十ひま
浦らえり成えぬ

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

十ひま
あき 浦 ぬん ぬ 連

きりぎりすナハヒモト びらびらハハヒモト の せりハハヒモト

木乃宿ハハヒモト 月乃ハハヒモト 宿ハハヒモト

見ハハヒモト 入ハハヒモト 宿ハハヒモト

きりぎりすナハヒモト の あハハヒモト せりハハヒモト

きりぎりすナハヒモト の せりハハヒモト

きりぎりすナハヒモト の せりハハヒモト

きりぎりすナハヒモト の せりハハヒモト

五

四

きりぎりすナハヒモト

あハハヒモト せりハハヒモト の せりハハヒモト

あハハヒモト せりハハヒモト の せりハハヒモト

あハハヒモト せりハハヒモト の せりハハヒモト

あハハヒモト せりハハヒモト の せりハハヒモト

あハハヒモト せりハハヒモト

六段調子

六

228

内閣文庫			
九	五		和
函	三		書
三	八		
架	冊	號	類